

56 「知」の集積と活用によるイノベーションの創出

令和8年度予算概算要求額 3,767百万円（前年度 2,850百万円）

- ＜対策のポイント＞

農林水産・食品分野におけるオープンイノベーションを促進するため、農林水産省が開設した『「知」の集積と活用の中』において、様々な分野の多様な知識・技術等の連携を図ります。
- ＜事業目標＞

 - 研究成果の70%以上が、次のステージの研究や農林水産・食品産業の現場において普及・活用〔令和9年度まで〕
 - 終了課題のうち50%以上において、事業化が有望な研究成果を創出〔令和12年度まで〕等

＜事業の内容＞

＜事業イメージ＞

1. 「知」の集積による産学連携推進事業 308百万円（前年度 257百万円）

『「知」の集積と活用の中』における協議会の運営、研究開発プラットフォームから生み出された**研究成果の商品化・事業化、海外展開を促進するマッチングイベントの開催**、バイオエコノミーの推進に資する活動への支援等、イノベーションの創出に向けた取組を支援します。
2. オープンイノベーション研究・実用化推進事業 2,459百万円（前年度 2,323百万円）

国の重要政策の推進や現場課題の解決に資する研究成果を創出し、社会実装を加速するため、**産学官が連携して取り組む基礎研究及び実用化研究を支援**します。
3. スタートアップへの総合的支援 1,000百万円（前年度 270百万円）

政策的・社会的課題の解決やサービス事業体等の新たなビジネス創出のため、

 - ① SBIR制度のもと、**革新的な研究開発とその事業化を目指して取り組むスタートアップ等**を支援します。また、**将来のアグリテックを担う優秀な若手人材を発掘し、研究起業家としての能力向上を支援**します。
 - ② **現場課題の解決に直結する革新的な技術の事業化を目指す農林水産・食品分野のスタートアップの大規模技術実証を支援**します。

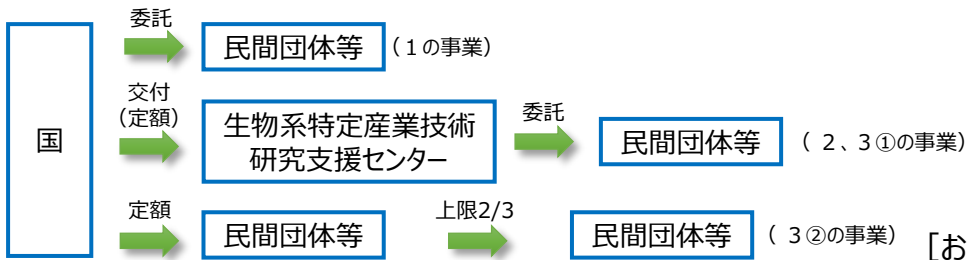
「知」の集積と活用の中

農林水産・食品分野に様々な分野のアイデア・技術等を導入した産学官連携研究を促進するオープンイノベーションの中

新たな商品化・事業化を通じて農林水産・食品分野を成長産業へ



＜事業の流れ＞



【お問い合わせ先】 農林水産技術会議事務局研究推進課（03-3502-5530）